



# FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第76号(2009)

ニュージーランド渡航特集 2009年10月30日～11月14日



Horowhenua Club の皆さんと



Horowhenua Club とプレゼント交換



Horowhenua Club の合唱



市長訪問

## New Zealand 渡航

出発までの8ヶ月間毎日パソコンを開ける緊張感を楽しみました。

両方のクラブのEDとFFIとの連絡・送金等何もかもが初めての経験でしたが、1人ではないので不思議と不安はありませんでした。沼さん五十嵐さん交換委員の皆さんがしっかりと支えてくださり、両方のクラブのEDと会長初め、ホストとアンバサダーの皆様のご協力のお陰で大きな混乱もなく楽しく、有意義な交換ができました。

前半の日本人が初めて訪れるホロフェヌアのクラブでは、レヴィンの市長を表敬訪問しました。市庁舎玄関には日の丸を掲揚してくれ、茶話会、写真撮影等小さな町の温かなおもてなしを受けました。

## ED 新井 ミキエ

レヴィンから1時間路線バスに揺られていくと後半のウェリントンです。

映画、ラスト侍 ロード・オブ・ザ・リング等の舞台を案内説明して頂いたり、又ホストとアンバサダーの車が連なり北島の最南端の海岸線をドライブをして、252段の灯台に全員で登り、南極が1番近い場所からの展望を楽しんだり、あざらしが7～8頭浜辺に上がっているすぐ傍までも行きました。

両クラブのフェアウェルパーティは何時もながらの盛り上がりで、FFの絆をしっかりと感じました。日頃の各FFクラブの活動の積み重ねと会員相互の信頼感の表れと思いました。

## Levin での日々

安藤 純子



SUMIKO : I can't speak English well.

NZ : I can't speak Japanese. 英語の苦手な私の挨拶に対し、Levin の人々はこのように話してくれました。Riita(mam)と Ivan(dad)と Stumpy(cat)・・・心やさしい私の family です。

クラシックカーは一人乗り・・・運転してくれた男性と記念写真を撮ったとき、彼は「I'm shy.」と言っていました。

後日訪問した family と和やかな会談の中でクラシックカーの話題となり、「I'm shy, he's shy.」と言ったところ爆笑…私のたった一つの英語のジョーク！ 穏やかな土地柄に恵まれた Levin での日々と”Tui Beer” は心地よい眠りを誘ってくれました。

再会を願いながら、Levin の人々と F.F. 埼玉のメンバーに感謝！！



幸せそうな羊たち



Vintage car でドライブ

## N. Z. 訪問記

原田 史



Manuka と Flax

私にとって初めてのホームステイのホストは Levin の中年女性 3 人組でした。みんな離婚して一人暮らし、働いています。この内の 2 軒のお宅に 3 泊と 4 泊お世話にな



りました。シャクナゲやつつじ、羊歯やクレマチスの美しい庭園と娘さんの嫁ぎ先の農場でのラムの夕食が暖かい心づかいと共に印象的でした。

心温まる NZ ホームステイ

堀切 京子



初参加の私は緊張と期待で胸が一杯だった。

Levinに着くと3人の女性達が私と原田さんを出迎えてくれた。

私達はMargaretとJustineの家に3日ずつステイとのこと。

Lizは毎朝来てくれ何かと世話をしてくれた。

其々が心温かく又、逞しさと優しさを併せ持つ方々だった。

Wellingtonでの出会いも素晴らしいものだったホストのGlendaとは何故か最初から不思議と気が合った。

SKYPEを通じて時々連絡をすることを約し名残惜しくもNZを後にした。

NZのsymbolのシダ silver fern



Manukaの花



ミルクトレイン

ファミリーを大事にするNZ

岩崎 日出夫



Horowhenuaは、緑の大地に囲まれ、花々の咲いた清潔な家、そして優しくハグで迎えてくれたLaurie & Marilyn夫妻とその家族、私にはここがParadiseと映った。

Wellingtonは、海と山に恵まれ、高くて見晴らしの良さを好む人々を知った。

現役で忙しく働く中、David & Cindy夫妻は、ユーモアを交え親身になって接してくれた。別れ難かった。

NZはファミリーを大事にする国だと分かった。私にとって大きな収穫であった。

ご一緒したFFの皆様方に感謝します。

## 感動のホームステイ 加藤 明世



FF活動を十分に理解しないままNZホームステイに参加させていただきましたが、感動の連続でした。ホストの姪が担任をしている小学2年生20名のクラスを訪問しました。私の周りに子供たちがしゃがんで座り、全員がキラキラした瞳で見つめてくれ、つたない英語でしたが楽しくすごしました。

教室は天井が高く、部屋には子供たちの作品が所狭しと賑やかに飾られていました。外で遊んでいた5・6年生の子供たちも非常に人懐っこく、運動場はよく手入れされた芝で、皆素足でした。

用意した名刺のおかげで、小学生・高校生・30代のメル友が出来た事・オークランドで地図を頼りに一人でガイドに教えられた古本屋を見つけ、古本を買うことができた事も良い経験でした。

ホストに恵まれた私がさせていただいた様に、受入時は十分お返しをしたいと思います。



## FFの初渡航に参加して 宮城 利枝子



FFには二年ほど前からお世話になり、今回初めてニュージーランドへの渡航に参加させていただきました。

私は今まで個人的にホームステイは何度か経験がありますが、今回のように大勢でしかも海外への旅行ははじめてでした。大勢の方と交流が出来たことがとても良い思い出となりました。

ニュージーランドのFFの方にも大変お世話になり、いろいろな場所に連れて行って下さり、本当に楽しく過ごすことが出来ました。

私より少しご年配の方々がとても生き生きとしていてお元気に活動していることに驚きました。ホストの方も時に母親の様な優しいまなざしで接して下さいました。今までホストを受けた時の反省や、これからホストを受けるときの勉強になりました。

最後にEDの新井さん、五十嵐さん、沼さん、稲垣さん、大変お世話になりありがとうございました。



心から楽しんだNZ 笠間 タイ子



今回の NZ 2ヶ所訪問にFF郡山からの私達を心より受入れてくださり、Horowhenua, Wellington, FF の訪問を本当に心から楽しみました。

文化の違い、生活習慣の違い、又心から人をもてなす時の世界共通の思い等、私達にとってFFでの受入

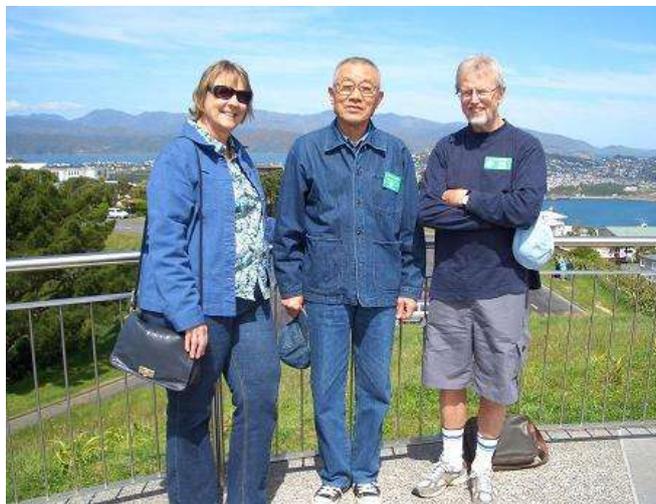
ホスト2回、訪問ゲスト2回目という未熟者である為、どちらの気持ち、立場を考えるととても良い学習が出来ました。

又埼玉FFの人々との交流も楽しいものでした。機会がありましたら、又御一緒したいと思います。





### 初めての NZ ホームステイ 江田 雅彦



私の 2 週目のホスト(Bob&Sue) は敬虔なクリスチャンで、最初のディナーが神への感謝の祈りで始まったのには少し吃驚しました。

翌日が日曜日だったので、彼等と 15 分程歩いてバプテスト教会の礼拝に出席しました。

私が以前英語学習を兼ねてバイブルクラスに通っていたルーテル教会のオルガン演奏とは違って、6 人の若者によるバンド演奏で、賛美歌は白い壁面に映写された歌詞を見ながら歌うというスタイルで、信者でない私にも精神の高揚が感じられました。

彼は聖歌隊に属し、午後は他の都市の教会まで出掛けて、今年最後の合同のコンサートで素晴らしい歌声を聴くことが出来ました。

彼女はボランティアとして教会で幼稚園入園前の子供達の世話をしています。英語初心者の私にとって彼等の英語が聞き取り易かったのもその事を彼等に告げたら、16 年前 UK から移民として NZ に渡来し 2 年前に市民権を獲得したと答えました。

そして彼は私達の英語は **British English** で、地元の **Kiwi English** とは違うと誇らしげに話しました。私の貧しい英会話にも教師の様に優しく接してくれました。

**Good morning** で始まり **Good night** で終わるホームステイの 7 日間で、彼等の信仰に満ち溢れた日常生活は私に大きな感銘を与えました。又彼等との英語だけによる会話を通して、リスニング力の不足を思い知らされましたが、なんとか会話のキャッチボールが出来て、今後の英語学習に更なる意欲が湧いてきました。

私にこのような素晴らしい機会を与えてくれた **ED** その他世話役の皆様に対して感謝の念で一杯です。

## バルセロナに暮らして 増田 信枝



「お元気でね」「遊びに行くからね」・・・と温かく見送られた日から、5年近く。すっかり、ご無沙汰してしまいました。今回機会を頂き、スペインでの生活の一端を紹介させていただきます。

「バルセロナの良さは色々あるけど、何と言ってもここの気候は世界一よ！」とは、スペイン人と結婚して50年近い友人の話。夏は真っ青な空に、強い日射しが照りつけるものの、湿度が低いので爽やかで過ごしやすく、冬の寒さも穏やかでした。四季はありますが、寒暖の差が小さいためか、秋の紅葉が日本のように美しくないのは仕方ありませんね。

食べ物は、肉・魚・野菜・果物と何でも豊富で美味しいです。

スーパーではパック詰め物もありますが、基本的に量り売りです。あのグロテスクなアンコウを一匹買った時は、流石にちょっと勇気がいりました。

一体何キログラムあって、いくらになるのか？野菜や果物は大きさの規格を合わせる無駄がないので、合理的かなと思いますが、色々な形や大きさのものが店先に並びます。

こんな素晴らしい気候、美味しい食べ物に囲まれて生活しているバルセロナの人達は、よく食べ、よく笑い、とてもおおらかで、バイタリティーに溢れています。

夕方仕事から帰り、次は楽しむ一日が始まるという具合で、一日を二日分使っているように思えます。レストランは通常、夜は9時開店で、12時、1時まで賑わっていますし、夜に小さなコンサートが開かれたり、サッカーの試合の日はあちこちのバルが大いに盛り上がります。

「テレビだって良い番組は、12時から始まるのよ」だそうです。朝が遅いかと言えばそうでもなく、8時には仕事に出かけていきます。

「睡眠時間がないじゃないの？」「死んだらずっと寝ていられるんだから、生きているうち寝ていたらもったいないでしょ」「エーそうなの？！」という訳で、明るく元気に生活を楽しんでいる人達に囲まれて、戸惑いながらも貴重な体験をさせて頂いた3年間でした。

## 埼玉 国際フェアに出展

## 岸田 正二郎



10月30日～11月1日、さいたま新都心けやき広場で開催されました埼玉県国際交流協会主催の国際フェアに、30・31日の両日、ザフレンドシップフォースオブ埼玉として参加しました。

期間中多くの方に足を止めて頂き、活動内容の紹介や、交換の様子の写真を見ながら説明などをし



ました。

興味をもたれた方も多く、今後のクラブのイベントの際には連絡をもらいたいと言う人や、入会を検討すると言う人が居て、PRの効果があったものと思われま

## 新入会員 紹介

### FF 埼玉入会のご挨拶

平井 康之

本年10月FFの活動に賛同し入会しました平井です。さいたま市浦和区に住んでおります。会員の皆様には今後宜しく申し上げます。

私はリタイア後趣味の陶芸に嵌まり平成6年伊豆韮山に工房を構え富士と駿河湾を見渡す自然の中で暮らし、海外にも英語の研修を兼ねNZや英国にロングステイもして60代を過ごしました。これからも多くの国の人達と交流を通じて互いの文化を理解し心を通じ合えればと思っております。

私事で恐縮ですが、来年1月14～19日浦和駅東口パルコの先日の出通りを徒歩10分の所に在るギャラリー浦和の家で作品を展示します。

ご覧頂ければ幸いです。(HP: <http://tohkouann.web.fc2.com>)

### はじめまして

加藤 明世

春日部に住む娘家族のサポーターをしながら、ガーデニング・ピアノレッスン等を楽しんでいます。ホームステイは体力勝負。今まで以上にウォーキングに精を出し足腰を鍛えたいと思っています。よろしくおねがいします。

## クラブからのお知らせ

### 2010年度の総会は1月30日(土)です。

場所：シーノ8F和室

時間：10時から。総会が終わり次第同和室にて懇親会を開きます。

1月上旬に総会資料をお送りしますのでどうぞご出席ください。

### 2010年カナダ受け入れ・ホストファミリー募集

去る11月21日、第一回交換委員会が開かれました。

受け入れは4月1日(木)～4月8日(木)まで、20名位受け入れの予定です。

ホストができる方はEDの岸田正二郎さんまでお申し出ください。048-766-1531

### 2010年ドイツ渡航EDは池田完之さんです。

渡航先はゲルゼンキルヘン(Gelsenkirchen)。デュッセルドルフから北東に50kmの都市です。

9月の予定ですが、詳しい日程はこれから先方と話し合いの上決まります。

### ホームページの管理

FF埼玉のホームページは、丸田泰正さんが更新、管理して下さっていましたが、このほど引継ぎが済み、10月から池田完之さんが担当することになりました。

丸田さん、本当にお世話になりました。

<http://www.h7.dion.ne.jp/~saitama/>

編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局

〒331-0815 さいたま市北区大成町4-202

TEL : 048-664-2723 FAX : 048-664-2723

発行日 : 2009年12月13日